

5) 人材育成事業

国広潮里¹

キーワード：人材育成事業 指導者育成事業

1. はじめに

自然環境や科学に興味を持つ沖縄県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会の充実を図るとともに、財団職員が持つ動植物や環境に関する知識や経験を活かした学習機会の提供を行う。また、大学等で学ぶ学生や教員を対象とした次世代の指導者育成にも寄与すべく事前調査及び実施計画を行う。

財団職員の人材育成として、総合研究所職員の調査研究・普及活動に関する情報を共有、施設運営・収益事業等へのスキルアップを目指す。

2. 事業内容

1) 指導者育成事業

大学等で学ぶ学生や教員、財団職員を対象に、次世代の指導者を育成することを目的とする。また、子どもから大人向けに、調査方法等のレクチャーを行い、野外で安全に活動する方法を指導する。

(1) 総合研究所 情報共有座談会

職員間で担当する専門分野の情報を交換することで、新規事業の立ち上げ等の一助となることを期待し実施した。令和5年度は、総合研究所の職員だけでなく、各部署の職員が財団職員向けに自身の研究や事業等を紹介するオンラインゼミを実施し、11回の講義で延べ約250人が参加した(表-1 および写真-1)。



写真-1 情報共有座談会の様子

(2) 講話「ヤシガニのお話」の開催

概要：本部町に棲息するヤシガニについて、町内の教育関係者に向けて講話を行った。

講師：徳武 浩司（総合研究所 普及開発課）

実施日：令和6年3月14日（木）

実施場所：本部町役場 会議室

本部町教育委員会の職員6名が参加した。ヤシガニが成長するために長い時間がかかることに驚く声が多かった。今後、乱獲などにより個体数が減っていることが町内の子どもたちへ伝わり、地域の生物を大切にすることが育まれることを期待する。



写真-2 ヤシガニの講話の様子

2) 人材育成事業

自然環境や科学に興味を持つ沖縄県内の小中学生が体験学習や研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会の充実を図る。

・次世代の人材育成を目的とした外部団体のイベントへの参加

外部団体からの依頼を受け、科学系の職業を目指す子ども向けのサイエンストークイベントへの参加や小学生向け職業体験イベントでのウミガメ飼育員体験プログラムを実施し、仕事内容の紹介を通して公園の魅力を発信した(写真-3)。

¹ 普及開発課



写真-3 職業体験での様子

4. 外部評価委員会コメント

県内の小中学生が、視察や体験学習、研究等を通して探究心を育みながら、地域の自然について学ぶ機会を得る、また、財団が持つ動植物や環境に関する知識や経験を活かした学習機会を、自然環境や動植物に関わる職業に従事者に対し提供する。これらの活動により、沖縄の将来を担う人材の育成を目指す。評価の高い事業である。今後も発展継続を期待する。(池田顧問：琉球大学名誉教授)

3. まとめ

本年度は、より幅広い地域や年齢層の子どもたちに対して科学の面白さや財団の取り組み等を紹介するため、外部イベントに積極的に参加した。後日、イベント参加者が美ら島自然学校に来校し、より学びを深める様子が窺えた。今後も外部イベントへ積極的に参加するとともに、財団内の知識を還元する講習会等を企画実施していく。

表-1 総合研究所 情報共有座談会 発表リスト

令和5年度 総合研究所 情報共有座談会(月一ゼミ) ※原則 毎月第三水曜日 16:00~17:00				
	実施日	講演者名	所属部署	内容
1	2023/4/19	徳武 浩司	普及開発課	海洋博公園における生物観察会
2	2023/5/17	砂川 春樹	植物研究室	中城村におけるシマンジン生産振興
3	2023/6/21	松本 瑞偉	動物研究室	沖縄美ら海水族館における大型板蛭類の研究
4	2023/8/17	松原 智子	植物研究室	海洋博公園から排出される動植物性残渣の堆肥化およびその肥効について -SDGsに向けた取り組み-
5	2023/9/20	西平参与	参与	ワークショップ手引書 増補・改訂・分割・統合作業
6	2023/10/18	花原 望	動物研究室	沖縄島に生息するハゼの生活史研究
7	2023/11/15	鶴田 大	琉球文化財研究室	琉球伝統建築のための人材育成事業
8	2023/12/20	芦田 裕史	海獣課 保全生物係	亜熱帯の森に棲むいきもの
9	2024/1/17	阿部 篤志	植物研究室	沖縄諸島における希少植物の現状と保全に向けた取り組み
10	2024/2/28	幸喜 淳	琉球文化財研究室	尚家文書に記された琉球産ベンガラについて ～現状報告～
11	2024/3/19	上地参与	参与	「健康機能食品」を摂って「健康寿命」の延伸をめざせ！ ～「人生100年時代」に向けてタメになる話～